

プリンター ドライバー ガイド (CPD900V)

Microsoft、Windowsは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Adobe、Adobe Photoshop はアドビシステムズ社の商標で、特定の法域で登録されています。

その他の記載の会社名および商品名は、各社の商標および登録商標です。

プリンタードライバーの最新情報は www サーバーでもご提供しています。

<http://www.MitsubishiElectric.co.jp/vcp/>

*プリンタードライバーをインストールしてからプリンターを接続してください。

■■■ 使用環境 ■■■

オペレーティングシステム	: Microsoft®Windows®7,8,10 x64
コンピューター	: Pentium 以降の CPU を搭載したコンピューター
主記憶メモリ	: 512Mbyte 以上
ハードディスク	: 空き容量 512Mbyte 以上
USB ケーブル	: 2m 以下のケーブル推奨

*オペレーティングシステムが正常動作できる環境でご使用ください。

*CP900D は USB2.0 (Hi-Speed USB) インターフェース対応です。

インストール

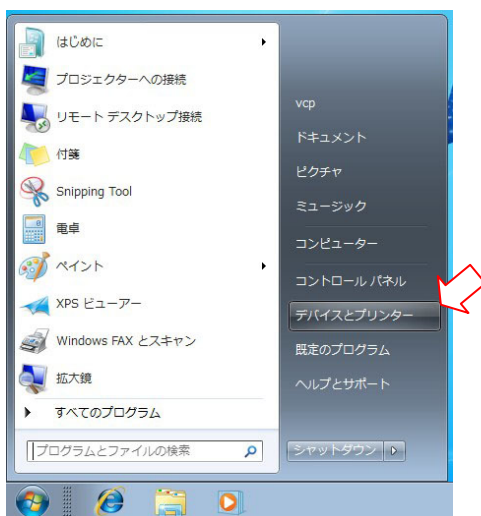
以下、Windows7 の場合について、記載しますが、Windows8、および Windows10 の場合も、「コントロールパネル」の「デバイスとプリンター」から、同様の手順でインストールを行います。

1.Windows 7

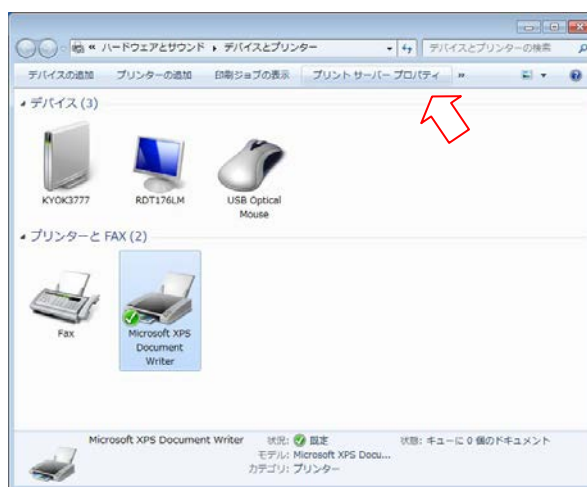
1.1. ドライバーのインストール

*Windows 7 でのドライバーのインストールは、プリンターを PC に接続する前に行ってください。

- 1) Windows®7 operating system を起動します。
- 2) Administrator または Administrator グループメンバーとしてログオンします。
- 3) スタートボタンを押して、メニューより「デバイスとプリンター」を選択します。(図1)
- 4) 「デバイスとプリンター」のウィンドウで、「プリンターと FAX」の欄のいずれかのアイコンをクリックして選択した状態にして「プリントサーバープロパティ」を選択します。(図2)

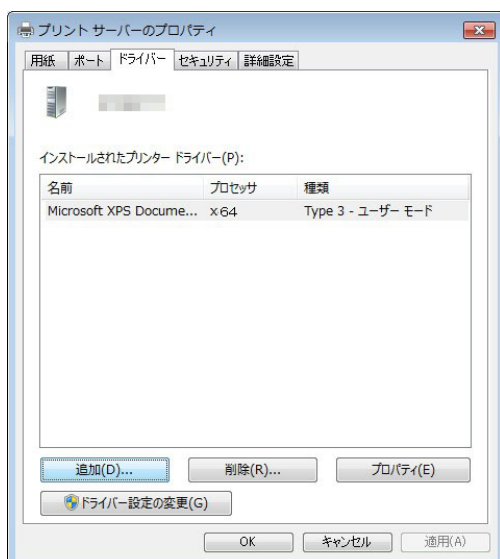


<図1>

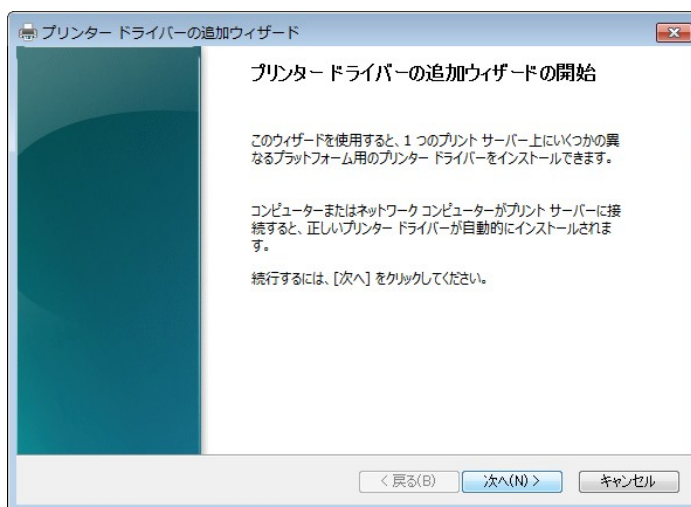


<図2>

- 5) 「プリントサーバーのプロパティ」で「ドライバー」タブを開き、「追加」ボタンをクリックします。(図3)
- 6) 「プリンタードライバーの追加ウィザードの開始」の「次へ」ボタンをクリックします。(図4)



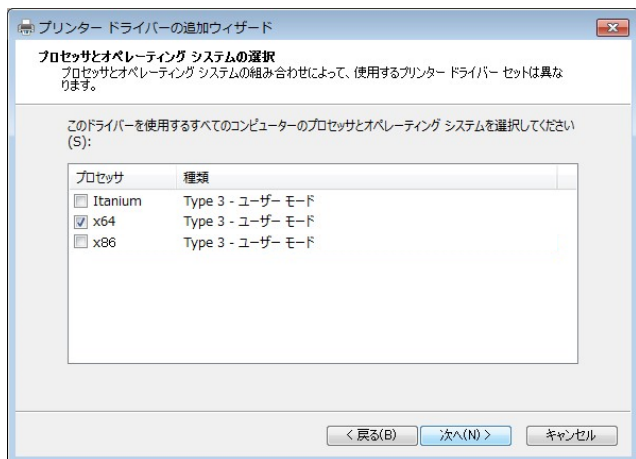
<図3>



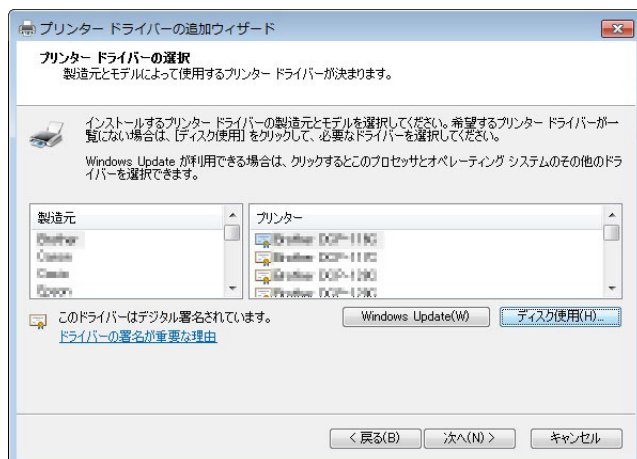
<図4>

7) x64 (64 ビット版の場合) にチェックが入っていることを確認して、「次へ」ボタンをクリックします。(図5)

8) 「ディスク使用」ボタンを押して、ドライバーファイルが保存されているフォルダーを選択します。(図6)



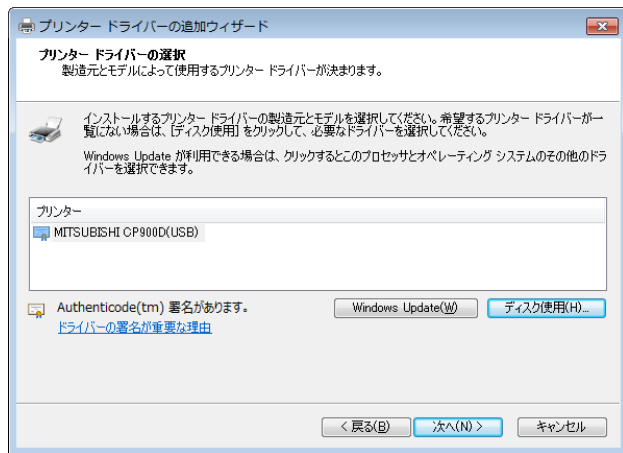
<図5>



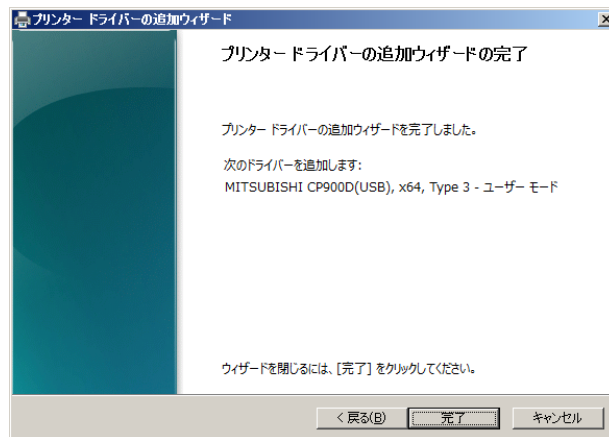
<図6>

9) 「次へ」ボタンをクリックします。(図7)

10) 「完了」ボタンをクリックします。(図8)



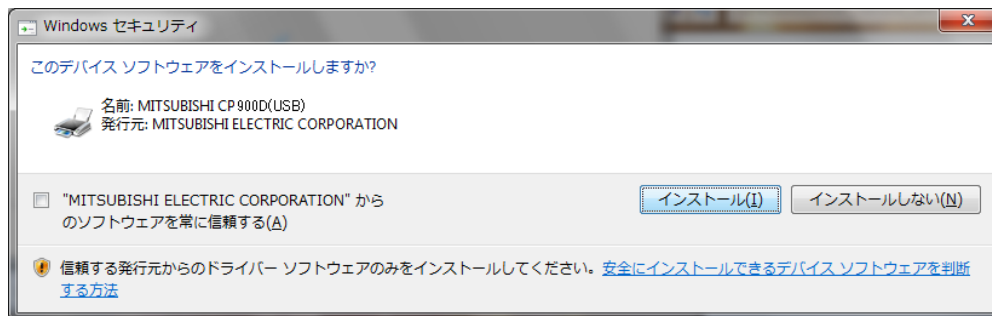
<図7>



<図8>

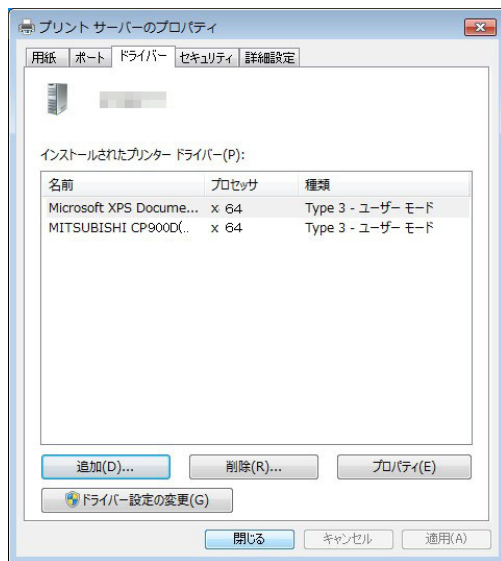
11) 「ユーザーアカウント制御」の画面で、「はい」を選択します。

12) 「Windows セキュリティ」の画面で、「インストール」をクリックします。(図9)



<図9>

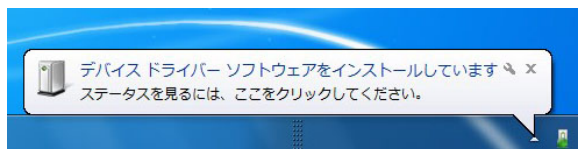
- 13) ドライバの追加の完了の確認と、「プリントサーバーのプロパティ」にインストールしたプリンタードライバーが表示されることを確認して、「プリントサーバーのプロパティ」の「閉じる」ボタンをクリックします。(図10)



<図10>

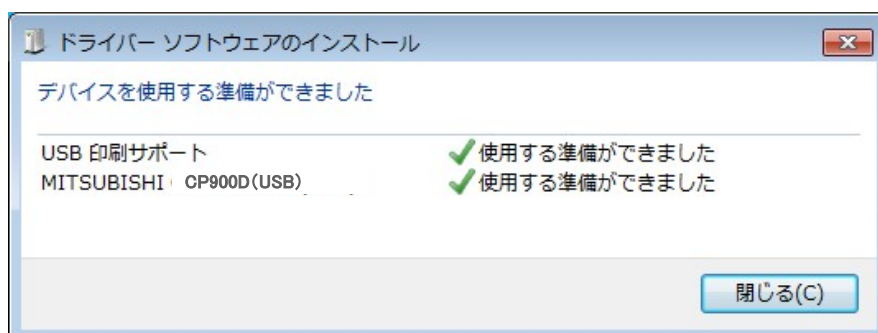
1.2.USB ポートのインストール

- 1) プリンターの電源を入れて、USB ケーブルでプリンターを PC に接続します。
- 2) デバイスドライバーソフトウェアが自動でインストールされます。ステータスを確認するには、図の表示をクリックします。(図11)



<図11>

- 3) 「閉じる」ボタンをクリックします。(図12)



<図12>

アンインストール

プリンタードライバーをアンインストールするには、以下の手順に従って操作してください。

アンインストールを行う場合は、アプリケーションからプリンタードライバーを使用していないこと、または印刷ジョブがスプーラ内に残っていないことを確認してください。

以下、Windows7 の場合について、記載しますが、Windows8、および Windows10 の場合も、「コントロールパネル」の「デバイスとプリンター」から、同様の手順でアンインストールを行います。

Windows 7 の場合

- 1) スタートボタンを押して、メニューより「デバイスとプリンター」を選択します。
- 2) アンインストールするプリンターのアイコンを右クリックして、「デバイスの削除」を選択します。
- 3) 「デバイスの削除」の確認ダイアログで、「はい」ボタンをクリックします。
- 4) プリンターと FAX の欄のいずれかのアイコンをクリックして選択した状態にして「プリントサーバープロパティ」を選択します。
- 5) 「プリントサーバーのプロパティ」でドライバーのタブを開き、「ドライバー設定の変更」ボタンをクリックします。
- 6) 左下に「ドライバー設定の変更」ボタンのない、同様の画面が表示されます。
削除するプリンタードライバーを選択して、「削除」ボタンをクリックします。
- 7) 「ドライバーとパッケージの削除」ダイアログで「ドライバーとパッケージを削除する」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。
- 8) 「プリントサーバープロパティ」の確認ダイアログで「はい」をクリックします。
- 9) 「ドライバーパッケージの削除」ダイアログで「ドライバーパッケージ情報が収集されました」が表示されたら、「削除」ボタンをクリックします。
- 10) 「ドライバーパッケージの削除」ダイアログで「ドライバーパッケージは削除されました」が表示されたら、「OK」ボタンをクリックします。
- 11) PC より、USB ケーブルを抜いてください。
- 12) コンピューターを再起動します。

Windows8、および Windows10 の場合

* アンインストール時は、インストール時の USB ポートに接続してください。

以降は、「コントロールパネル」の「デバイスとプリンター」から、Windows7 の場合と同様の手順でアンインストールを行います。

1. 用紙設定ダイアログ



用紙サイズ	画素数
S	1280 × 960
L	1280 × 1676

各用紙に出力するための画像画素数を示します。

<図 13. 用紙設定ダイアログ>

1) 用紙サイズ

用紙のサイズを選択します。
用紙サイズ別画素数を表に示します。

2) プリント画素数

各用紙サイズに対してユーザーに開放される画素数を表示します。

3) 解像度

プリンタの解像度を表示します (325ppi 固定)。

4) 用紙の向き

用紙の向きを設定します。

5) 部数

設定値の数だけ同じ画像をプリントします。

* 通常複数ページプリントするときは例のようになります。

(例) 3 ページを 2 部印刷 出力結果: 1p 1p 2p 2p 3p 3p

* アプリケーションによっては、上記のように転送しない場合があります。

(例) 3 ページを 2 部印刷 出力結果: 1p 2p 3p 1p 2p 3p になるように、アプリケーションが一部ずつ 2 回出力する。

6) 連続プリント

ON 時は、ペーパーまたはインクシートがなくなるまで同じ画像を印刷します。

印刷を中止する場合は、RESET キーを押しながらFEED&CUTキーを押してください。

* アプリケーションから部数を設定しても連続プリントが優先になります。

7) 拡大率

拡大縮小の値を設定します。(設定範囲 25-400%)

8) 全て初期値に戻す

用紙、オプション、色調整の各ダイアログ中の、全ての設定のデータを初期値に戻します。

9) 全ての設定をロード

用紙、オプション、色調整の各ダイアログ中の、全ての設定のデータをロードします。

10) 全ての設定をセーブ

用紙、オプション、色調整の各ダイアログ中の、全ての設定のデータをセーブします。

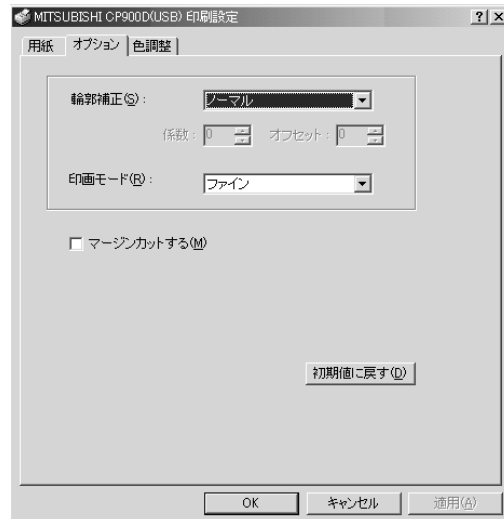
11) バージョン情報ボタン

プリンタドライバのバージョン情報を表示します。

12) 残量

インクシートの残量を表示します(単位: パーセント)。残量が少なくなるほどバーの長さが短くなります。

2. オプション設定ダイアログ



< 図14 . オプション設定ダイアログ >

1) 輪郭補正

ソフト / ノーマル / ハード / ユーザ定義

輪郭補正の強さを変更できます。ユーザ定義選択時は係数・オフセット設定値を変更することができます。

*係数 : この値によって輪郭を補正する強さが変わります。

柔らかい 0 ~ <設定範囲> ~ 31 はっきり

*オフセット: この値によって、印画したい画像の中で、輪郭と見なされる画像の範囲を変更することができます。

この値を小さくすると、印画された画像は詳細部が強調されざらついた感じになります。

この値を大きくすると、白と黒の差のようにメリハリの利いた部分に輪郭補正が効くようになるので、なめらかな感じの印画にすることが出来ます。

ざらついた感じ 0 ~ <設定範囲> ~ 15 なめらかな感じ

2) 印画モード

ファースト : 高速モードで印刷します。

ファイン : 高画質モードで印刷します。

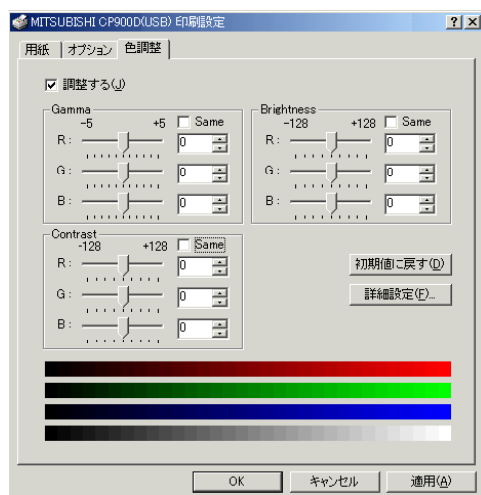
3) マージンカットする

余白をカットします。

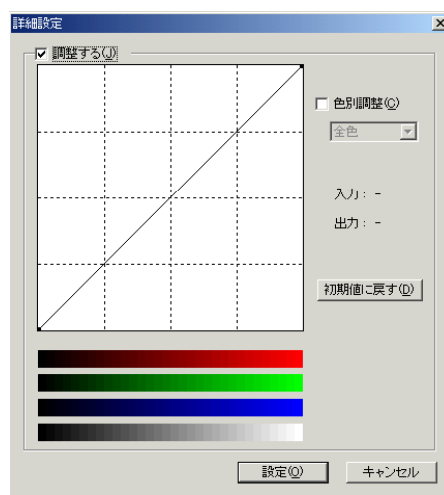
4) 初期値に戻す

オプションダイアログ中の全ての調整値を初期値に戻します。

3. 色調整



< 図 15-1 . 色調整ダイアログ >



< 図 15-2. 詳細設定ダイアログ >

3.1. 色調整ダイアログ

1) 調整する

チェックなしの状態では、演算処理を行わないので処理速度が上がります。

2) Gamma 画像の中間調部の濃度を調整します。調整値 (-5 ~ +5)

Gamma の値が小さいほど、中間調部が暗くなります。

Same チェックボックス ON : R, G, B を同値に設定します。
OFF : R, G, B を異なった値に設定します。

3) Brightness 画像のブライトネスを調整します。調整値 (-128 ~ +128)

Brightness の値が小さいほど、画像全体が暗くなります。

$$R'(x) = R(x) + \text{Brightness}(R)$$

$$G'(x) = G(x) + \text{Brightness}(G)$$

$$B'(x) = B(x) + \text{Brightness}(B)$$

Same チェックボックス ON : R, G, B を同値に設定します。
OFF : R, G, B を異なった値に設定します。

4) Contrast 画像のコントラストを調整します。調整値 (-128 ~ +128)

Contrast 0

$$R'(x) = R(x) + (\text{Contrast}(R)/128) \times x$$

$$G'(x) = G(x) + (\text{Contrast}(G)/128) \times x$$

$$B'(x) = B(x) + (\text{Contrast}(B)/128) \times x$$

Contrast < 0

$$R'(x) = R(x) + (\text{Contrast}(R)/128) \times (x/2)$$

$$G'(x) = G(x) + (\text{Contrast}(G)/128) \times (x/2)$$

$$B'(x) = B(x) + (\text{Contrast}(B)/128) \times (x/2)$$

Same チェックボックス ON : R, G, B を同値に設定します。
OFF : R, G, B を異なった値に設定します。

5) 詳細設定 トーンカーブで、より細かい色調整を行います。

6) 初期値に戻す

色調整ダイアログの全ての調整値を0に戻します。

3.2. 詳細設定ダイアログ

1) 調整する

チェックなしの状態では、演算処理を行わないので処理速度が上がります。

2) 色別調整

ON : RGB 各色を個別に調整します。

OFF : RGB 各色を同様に調整します。

3) 調整色選択

色別調整時、調整色を選択します。

4) 入出力値表示

調整ポイントの入力 (調整前階調値) 出力 (調整後階調値) を表示します。

5) 初期値に戻す

全てのトーンカーブを (0, 0) - (255, 255) のリニアな直線に戻します。

4. エラー表示

No.	エラー表示	ボタン	処理内容
(1)	プリンタの電源が入っていません。 またはケーブルが接続されていません。 エラー解除後OKボタンクリックで再開します。	OK	エラー解除後OKクリックするとダイアログが消え、自動的に印画処理を再開する。エラー解除せずOKクリックするとダイアログが消えるのみ。プリントジョブはスプーラに蓄積される。
(2)	プリンタの電源が入っていません。 またはケーブルが接続されていません。	OK	エラー解除するとダイアログが消え、自動的に印画処理を再開する。エラー解除せずOKクリックするとダイアログが消えるのみ。プリントジョブはスプーラに蓄積される。
(3)	プリンタのドアが開いています。 エラー解除後再開します。	キャンセル	エラー解除するとダイアログが消え、自動的に印画処理を再開する。エラー解除せずキャンセルクリックすると、印画処理を中止する。
(4)	用紙切れです。エラー解除後再開します。	キャンセル	エラー解除するとダイアログが消え、自動的に印画処理を再開する。エラー解除せずキャンセルクリックすると、印画処理を中止する。
(5)	プリンタにエラーが起きました。 エラー解除後再開します。	キャンセル	エラー解除するとダイアログが消え、自動的に印画処理を再開する。エラー解除せずキャンセルクリックすると、印画処理を中止する。
(6)	シートカートリッジが正しく装着されていません。 エラー解除後再開します。	キャンセル	エラー解除するとダイアログが消え、自動的に印画処理を再開する。エラー解除せずキャンセルクリックすると、印画処理を中止する。
(7)	インクシート切れです。エラー解除後再開します。	キャンセル	エラー解除するとダイアログが消え、自動的に印画処理を再開する。エラー解除せずキャンセルクリックすると、印画処理を中止する。
(8)	使用できないインクシートを検出しました。 エラー解除後再開します。	キャンセル	エラー解除するとダイアログが消え、自動的に印画処理を再開する。エラー解除せずキャンセルクリックすると、印画処理を中止する。
(9)	インクシート情報が検出できません。 エラー解除後再開します。	キャンセル	エラー解除するとダイアログが消え、自動的に印画処理を再開する。エラー解除せずキャンセルクリックすると、印画処理を中止する。
(10)	プリント用紙とインクシートの組み合わせに誤りがあります。 エラー解除後再開します。	キャンセル	エラー解除するとダイアログが消え、自動的に印画処理を再開する。エラー解除せずキャンセルクリックすると、印画処理を中止する。
(11)	紙詰まりです。エラー解除後再開します。	キャンセル	エラー解除するとダイアログが消え、自動的に印画処理を再開する。エラー解除せずキャンセルクリックすると、印画処理を中止する。
(12)	用紙終了。エラー解除後再開します。	キャンセル	エラー解除するとダイアログが消え、自動的に印画処理を再開する。エラー解除せずキャンセルクリックすると、印画処理を中止する。
(13)	インクの残量がありません。 エラー解除後再開します。	キャンセル	エラー解除するとダイアログが消え、自動的に印画処理を再開する。エラー解除せずキャンセルクリックすると、印画処理を中止する。

* 以下のオペレーティングシステムや設定以外でプリンタをご使用の場合は、エラー表示を行わない場合があります。

インターフェイス	オペレーティングシステム	設定
USB	Windows7	「このプリンタで双方向通信機能をサポートする」に設定されている。
	Windows8	
	Windows10	

注意事項

- 1) スプールファイル用のハードディスクの確保
スプールファイル用のハードディスクの容量を、使用されるプリンタと印画枚数にあわせ十分確保してください。不足した場合正しく印画できないことがあります。通常、スプールファイル用ドライブはウィンドウズシステムのドライブと同じドライブです。
- 2) 用紙サイズが小さいプリンタの印字テスト
インストール時にテストページを印刷すると画像の一部が切れます。この場合は、インストール後に拡大率を小さく調整してから印刷してください。
- 3) プリンタ操作
プリンタ操作については、本体取扱説明書を参照してください。
印画データ転送中および印画実行中にプリンタの電源を切らないでください。
やむなく、電源がOFFした場合、ホストコンピュータの再起動が必要となる場合があります。
(印刷ドキュメントの削除が実行できない場合、ホストコンピュータの再起動が必要です。)
- 4) 色調整の適用範囲について
色調整は背景を含む印画範囲全体に適用されます。
- 5) 「プリンタに直接印刷データを送る」の設定について
プリンタに直接印刷データを送る設定を選択した場合、一部のアプリケーションでオブジェクトが正しく印画されない場合があります。この場合は、「印刷ジョブをスプールし、プログラムの処理を高速に行う」を選択して印刷を行ってください。
プリンタに直接印刷データを送る設定
プリンタプロパティシート「詳細設定」ページ内
- 6) 連続プリント印刷を中止させる方法
連続プリントを中止させる場合、プリンタのRESETキーを押しながらFEED&CUTキーを押してください。次の画像が印刷される場合は、再度RESETキーを押しながらFEED&CUTキーを押してください。
- 7) ホストコンピュータとプリンタの接続について
プリンタとパソコンは1:1で接続してください。
データ転送中にインターフェースケーブルは抜かないでください。
- 8) USB接続するためのパソコン条件
Windows7/Windows8/Windows10プレインストールタイプのパソコン、パソコンメーカーによりUSB動作が保障されているものをご使用ください。
- 9) USBケーブルの接続
プリンタドライバのインストール後にUSBケーブルを抜き差しする場合は、ケーブルを抜いてから5秒以上の間隔を空けてください。間隔をあげずに抜き差しを行うと正常に動作しない場合があります。
- 10) 印刷実行時、「パラメータの値は無効です。」と表示された場合は、以下のような操作を行ってください。
a) システムプロパティのハードウェアタブより、デバイスマネージャを選択します。
b) ハードウェアの変更スキャンを実行します。
- 11) プリンターの電源が入っていない、またはケーブルが接続されていないエラー表示時に、エラーを解除しないでOKをクリックした場合、一度でダイアログが消えない場合がありますが、数回OKをクリックするとダイアログは消えます。動作に問題はありません。

お客様の目的に合った使用法

1. プリント画の輪郭強調を自由に設定したい場合

オプション設定画面の"輪郭補正"のユーザ定義を選んでください。そのとき、係数とオフセット値が設定できるようになります。設定例を以下に示します。

ソフト : 係数 1、オフセット 14

プリントしたい画像にノイズ成分が多い(ざらついた感じ)場合や、画像の輪郭をぼかしたい時にこの設定を選びます。

ハード : 係数 4、オフセット:2

プリントしたい画像の詳細部がぼけてしまっているときにその部分を浮き出させたいときや、画像の輪郭をはっきりさせたいときにこの設定を選びます。

2. プリント画の色調整をしたい場合

以下の設定を行ってもモニタ表示画像には反映されません。

1) プリント画全体の濃度を濃く(暗く)したい場合

色調整ダイアログの"Brightness"の値を小さくします。

2) プリント画のピントが甘い(コントラストが弱い)場合

色調整ダイアログの"Contrast"の値を大きくします。

画像のコントラストが強くなります。

3) プリント画の色目を変えたい場合

色調整ダイアログの"Brightness"の値を変更します。

赤みをつける : 色調整ダイアログの"R"の値を大きくします

緑みをつける : 色調整ダイアログの"G"の値を大きくします

青みをつける : 色調整ダイアログの"B"の値を大きくします

4) プリント画の色調整を詳細に行う場合

詳細設定ダイアログのグラフをマウスで動かし、画像全体の濃度を任意の曲線に調整することが出来ます。

入力値に対して、出力値を小さくすると濃度が高く(暗く)、大きくすると濃度が低く(明るく)なります。

禁止事項について

本ドライバに対して、リバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルすることを禁止いたします。

免責について

動作環境によっては正常に動作しない場合もあります。また本製品に関していかなる損害(逸失利益、特別な事情から生じる損害等)が発生しても、一切責任を負わないものとします。